

# 富士見町脱炭素ビジョンの概要 (2024年1月 策定)

建設課 生活環境係 ☎62-9114

地球温暖化等の影響で異常気象や災害、生態系への影響、農作物被害など、様々な対応が必要な課題が出てきている。温暖化対策の実行にあたっては、本ビジョン策定を通じて、2050年のゼロカーボン実現に向けた現状と課題を把握し、ただゼロカーボンを目指すだけでなく、取り組みを通じてさらに魅力あるまちを目指すことが期待される。

## 1. 脱炭素ビジョン策定の背景と目的

### 背景

2050年度までに温室効果ガスを実質ゼロとすることを見据えた温室効果ガスの削減及び再生可能エネルギーの最大限導入について、費用対効果や実現可能性、持続可能性を考慮しつつ、計画的・段階的に進めていく必要がある。

### 目的

富士見町の豊かな暮らしを未来につなげるため、2050年ゼロカーボンまでの道筋を描く本ビジョンを策定。

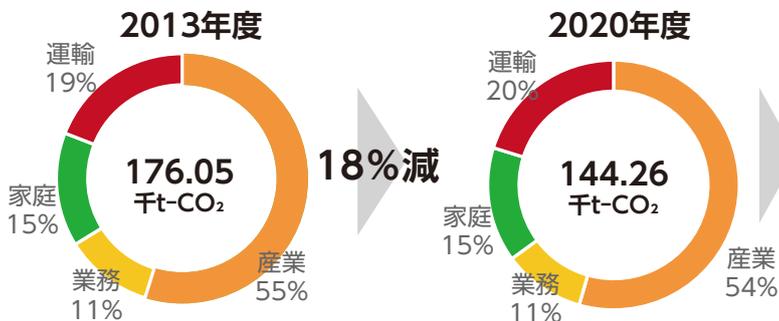
CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロを実現するためには…

- ✓ 「エネルギー消費量を減らす(省エネ化)」
- ✓ 「地域に再エネ電源を増やし、再エネ電力を使う(再エネ活用)」
- ✓ 「森林によるCO<sub>2</sub>吸収量を維持・促進する(森林吸収/炭素固定)」

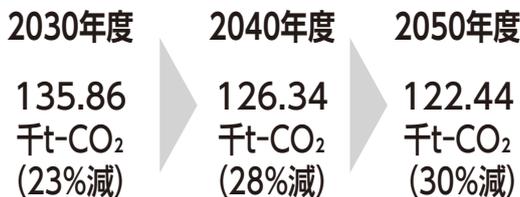
## 2. 温室効果ガス排出量と将来予測 (BAU)

このまま何も対策をしなかった場合、2050年のゼロカーボンは達成できない。

### 実績



### BAU

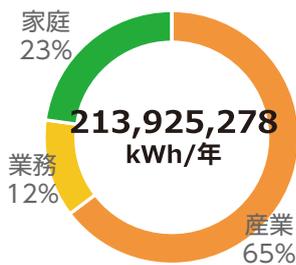


※減少率はすべて2013年度比

## 3. 再エネ導入状況とポテンシャル

電力需要に対し、再エネ電力で地域内電力を賄うためには再エネ導入推進が必要。

### 現状の電力需要



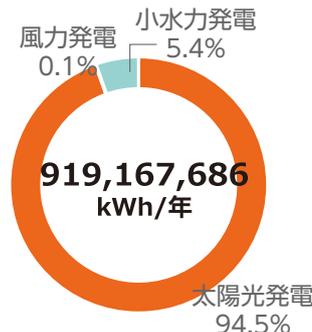
※2020年度の需要量

### 現状の再エネ電力量



※2020年度時点の再エネ電力量

### 再エネポテンシャル

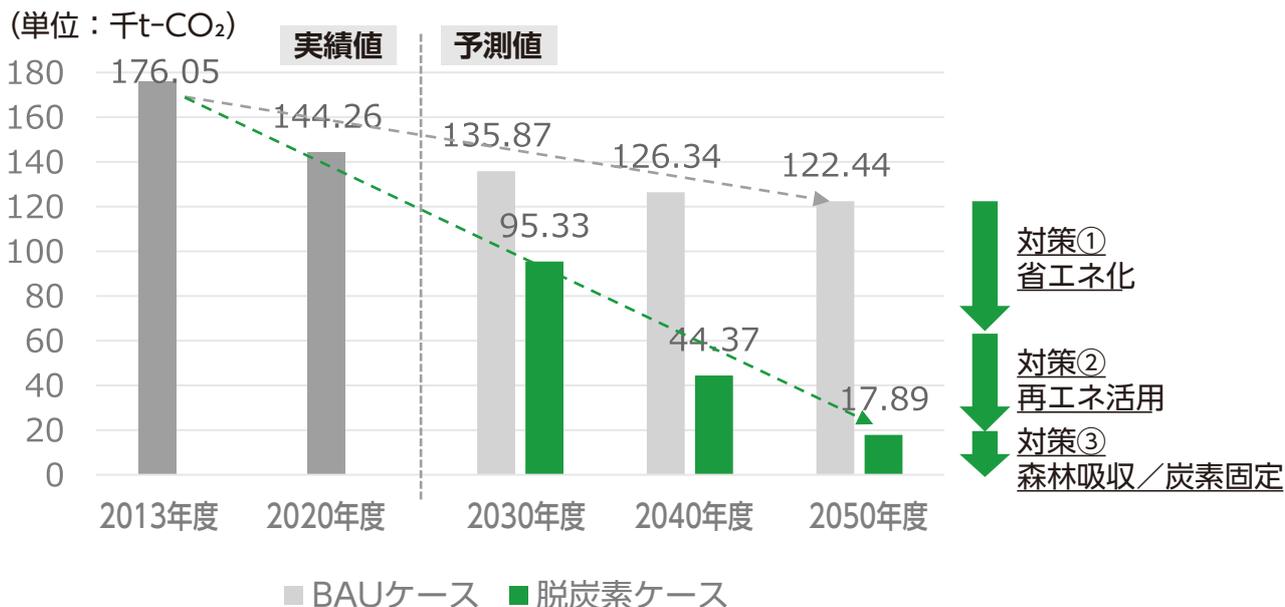


※期待可採量にて試算

富士見町でのゼロカーボン実現に向けては、脱炭素化と同時に様々な地域課題の解決や地域への波及効果の創出につなげていくことが期待される。【自然環境と共生しながら脱炭素で暮らしの豊かさを実現するまち】を目指して、様々な分野でゼロカーボンの技術導入や対策を進めていき、地域の産業発展や、暮らしのゆたかさの実現、安心・安全なまちづくり等にも繋げていく。

## 4. ゼロカーボン実現のためのロードマップ

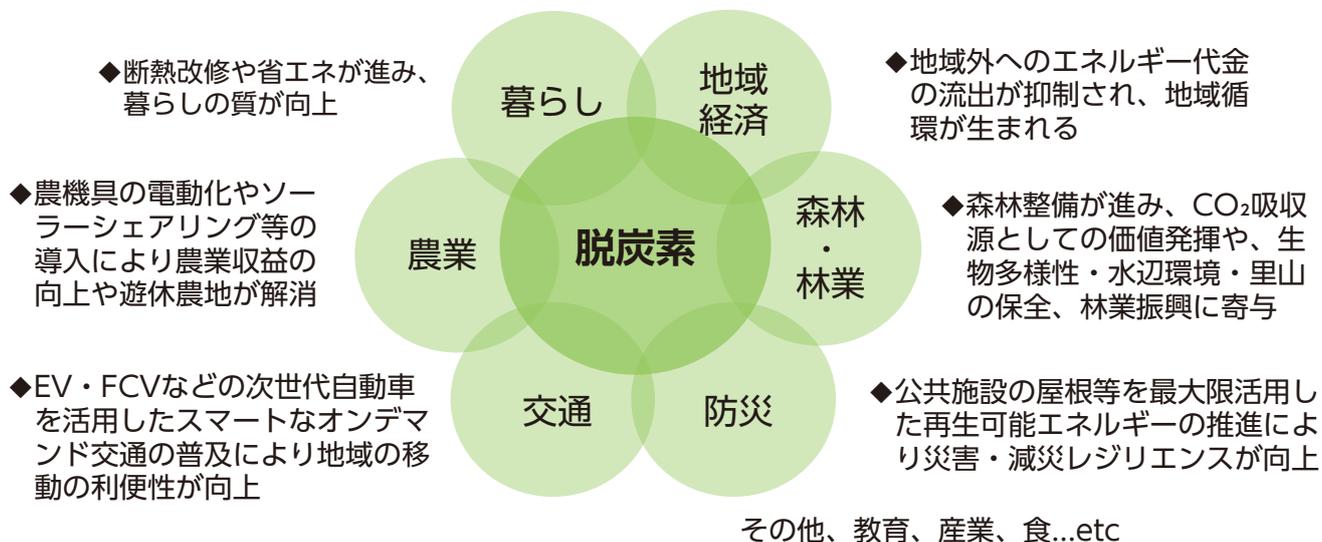
省エネ、再エネ導入および利活用、森林吸収対策を進め、ゼロカーボンを達成する。



## 5. ゼロカーボン実現に向けた目指す姿

脱炭素化だけでなく、地域課題解決も合わせて実現する取り組みを推進する。

～自然環境と共生しながら脱炭素で豊かな暮らしを実現するまち～



※ 詳細は、町ホームページをご覧ください。  
※ 本ビジョンの完成と入稿のタイミングにより、完成版では一部表現が変更となっている可能性があります。